

SDGs 達成に向けた取組み

自然保護及び産業物排出削減



目的・背景

環境問題（温暖化）・BCP 対策

地域の EV 充電スペース普及、2050 年カーボンニュートラル実現を最終目的に、環境に優しい企業経営に取り組んでいます。V2H（EV や PHEV などの電気自動車のバッテリーに蓄えられた電力を、家庭用電源としても使えるようにする機器）と太陽光パネルを活用し、災害時の地域の避難所になれるよう導入しました。

具体的な取組内容

令和 5 年 5 月に EV 用急速充電器（50KW）、V2H を導入しました。

急速充電器はこれからの時代を担う電気自動車普及支援のため、V2H は災害時の電力供給拠点としてご利用いただけるよう導入いたしました。

今後伊予市とも提携を行い、災害時の地域避難所登録を行ってまいります。

成果

・EV 用急速充電設備の利用状況

新規の電気自動車ユーザーの利用あり
既存顧客の電気自動車購入

・V2H

メーカーさんによる災害時の使用講演実施

・社用車 PHEV 導入

令和 4 年 0 台⇒令和 5 年 2 台導入 (RAV4、エクリプスクロス)

上記内容で 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

担当者の思い

SDGs に積極的に取り組むことで、新規雇用につなげることができました。敷地内にも看板を設置した事により、取引業者等にもアピールすることができました。

未来ある子どもたちのために持続可能な開発目標を従業員一同共通意識で取り組みたいです。

2030 年までに 1 つでも多くの開発目標を達成したいです。

〈久保 沙織〉



EV 用急速充電器



V2H



RAV4



エクリプスクロス